

大阪健康福祉短期大学 保育・幼児教育学科

学生相談室だより (No. 6)

2024年1月11日

学生相談室カウンセラー 執行 しぎょう

あけましておめでとうございます。

本年が、皆様にとって実り多い豊かな年になりますように。



心配と恐怖から始まった2024

楽しい年越しを過ごした方、元旦朝から初詣に出かけた方、世の中にいろいろな課題が山積していても、多くの方はだいたい例年通りのお正月を過ごしておられたことと思います。そんな元旦の夕方に飛び込んできた能登半島地震のニュース、そして羽田での航空機事故の映像、恐怖や当事者の方々を心配する気持ちなどで圧倒されてしまいました。一日も早い平穏な日々の訪れを祈るばかりです。

被災者の回復について

そんな年明けですので、今回はこのようなテーマです。以下のお話をご存知ですか？

東日本大震災の後、自身も被災し漁に出れないため仕事もできなくなった漁師さんたちのお話です。妻たち女性は避難所で調理や掃除の当番で仲間と共に活躍している一方で、漁師の“おじさん”たちは手持無沙汰で気持ちが沈んだりアルコールやたばこの摂取量が増えてしまったり（13年前は避難所でも今以上に男女分業だったんですね）。そんな中、自分たちにできることをしようと、一部の漁師さんが漁で使う網の補修を始めました。その輪は徐々に広がり、気が向いたとき、手の空いた時に漁師仲間が来ては補修をし、会話をし、そして去っていくような緩い会となりました。この会は、漁師さんたちの大きな支えとなったのです。

災害だけではなく、事故、犯罪、その他傷を負った方々は、原因となった出来事のために、「本来の力が発揮できなくなっている」という苦しみも抱えています。

そのため、「自分の力を発揮すること(漁師のスキルを活かしてできる必要な作業だった)」「その取り組みが自己決定に基づいていること(漁師の仲間内からの発案だった)」は、被災者・被害者の回復に大変重要になります。漁師さんの会は、それが仲間との緩い繋がりの中で行われたため、孤独感を小さくし不安や不満、そして希望を共有するということのつながりも得ることができたのだと思います。

皆さんは、子どもたちとその保護者の保育、支援に当たられますね。その際にも役立てていただけると嬉しいです。が、まずは自分が落ち込んだり傷ついたりした時に自分の力を発揮できるよう、ほんの少しだけ振り返ってみませんか？

Q1. あなたの、「好きなこと」「触れているとワクワクすること」は何ですか？

Q2. あなたの存在は、誰かを「安心させ」「幸せにし」「笑わせて」いるはず。それはいったい誰でしょう？そして、その人にとってのあなたの良さとは何でしょう？



学生相談室には直通のメールとラインがあります。どうぞお気軽に連絡をお待ちしています。メール・ラインの確認は週に2回程の頻度で行いますので、返信に時間がかかる場合があります。ご了承下さい。

メールアドレス soudan-shimane@kenko-fukushi.ac.jp



相談室(LINE) QRコード

学生相談室の開室日

| 月 | 日にち | 曜日 | 時間 |
|----|-----|----|---------|
| 1月 | 10日 | 水 | 9時~12時 |
| | 11日 | 木 | 9時~12時 |
| | 16日 | 火 | 9時~13時 |
| | 23日 | 火 | 9時~13時 |
| | 25日 | 木 | 13時~17時 |
| | 30日 | 火 | 9時~12時 |
| 2月 | 8日 | 木 | 9時~13時 |
| | 14日 | 水 | 9時~12時 |
| | 21日 | 水 | 9時~12時 |
| | 29日 | 木 | 9時~13時 |
| 3月 | 7日 | 木 | 9時~13時 |
| | 19日 | 火 | 9時~12時 |

開室日は変更になることがあります。ドア横のホワイトボードを見て声をかけてくださいね！